

受験番号	氏 名

令和 8 年度

貞静学園中学校

適性検査型入試【適性 1】

試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かず、下記の注意事項をよく読むこと。

注 意 事 項

1. 問題用紙は 9 ページです。解答用紙は別紙（1 枚）になっています。
2. 試験開始の合図で、問題用紙と解答用紙に、受験番号・氏名を正しく記入すること。
3. 試験開始後、「問題用紙のページ数と解答用紙」を確認し、足りない場合は静かに手を挙げ、試験監督者に申し出ること。
4. 解答には、必ず鉛筆、またはシャープペンシルを使用し、解答用紙の記入箇所をまちがえないように答えを記入すること。
5. 必要があれば、ラインマーカーまたはボールペンを使用してもよい。
6. 試験終了の合図で、試験監督者の指示に従って解答用紙と問題用紙を提出すること。

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(＊印のついている言葉には、本文の後に「注」があります。)

富士山が、世界遺産になるとき、＊ひと悶着もんちやくあつた。

日本が、＊三保の松原までを含めて富士山としたのに対して、世界遺産認定の本部が異議をさしはさみ、富士山とその周辺のみを名勝として指定すると主張したのである。

おどろいた日本側が、富士山は三保の松原あたりまでを含めたところで価値がある。山の周辺に限定したのでは、富士山の価値は認められないと反論した。

その反論が容認されて、三保の松原も含む一帯が富士山として世界遺産に認定された。

役人にモノがわからないのはいたしかたないことだが、文化にかかわる以上、しっかりした見識の欠けているのは困ったことである。

昔から、富士山を描いた絵、とった写真がどれくらいあるかわからないが、＊麓ふもとから山頂を望むというのはかつてなかったであろう。

山の近くでは山は見えない。見えるのは木立ちや岩である。山頂を望むこともできない。近景の山は、決して美しくない。

それが、遠景となると、こまかいところは消えて、まとまった形になる。さらに遠くから見ると、山は青くなる。「遠くより眺めればこそ白妙の富士も富士なり筑波嶺もまた」というわけである。

S氏は＊気鋭きえいの文芸評論家であると同時にすぐれたアメリカ文学者でもあつた。

そのS氏が、アメリカへ海外研究に出かけておもしろい発見をした。

日本にいるときより日本文学がよくわかるような気がし出した。こまかいことはともかく、ポイントがはつきりする。全体像がわかるようになったのである。S氏はアウトサイダーの視点をアメリカでつかんだのである。

ところが、その反面、日本にいたときはよくわかっていたつもりであつたことが、本場のアメリカへ来て、かえって、わかりにくくなった。アメリカ文学の研究のためには、アメリカへ行くのはかならずしも賢明ではない、という結論のようなものに到達。帰国後「遠望のすすめ」というエッセイを発表して注目された。外国のことを知るため、研究するために、留学するというのは、異論の出ようのないことであるけれども、遠望説を考えると、その効果が□あになるのである。

日本人は島国にいて、遠い海外のことは不知である。遠くのもの
はわからない。おもしろくない。うちうちのものが美しい、と
いう考えに支配されやすい。意識せずしてインサイダーがいいと
考え、よくない い に陥りやすい。

そういう人間には、国の外へ出ることの意味は小さくない。外
国へ渡ってみると、それまで見えなかった日本が見えてくる。

① アウトサイダー 視点に立つことができるようになる。

明治以来、欧米へ留学したエリートの数はおびただしいが、そ
の割に成果があがっていないというきびしい評価がある。それは
それとして、アイランド人間に、アウトサイダーの視点を与える
のもまた留学であると考えるゆとりが必要である。

わたくしは、若いとき、英語英文学の月刊雑誌を編集した。と
くに編集の修業をしたわけでもないのに、ひと通りの雑誌をつく
るまでは、何年も人に言えない苦勞をしなくてはならなかった。
いまここで、それを披露するつもりはないが、この遠望の価値
にまつわることをひとつ書いておきたい。

イギリスとアメリカの文化ニュースを編集でまとめて報じた
いが、ニュースを見つけるのが容易ではない。あるとき、おもし
ろいことを思いついた。イギリスのことはアメリカのニュースに

よって伝え、逆に、アメリカのことはイギリスのメディアによる、
ということである。

アウトサイダーのまたアウトサイダーというわけで、いくらか
中立的、客観性に近づくことができるのではないかと考えたので
ある。

頭で考えるほど簡単ではなくて、うまく取材ができたことはす
くなかったが、アウトサイダー視点が、うなインサイダー視
点とは違った価値をもつらしいことは納得した。

遠くのものとはよくわからない。

近くものは ^{ざっせん} 雑然としていてやはりよくわからない。

遠すぎず、近すぎずの中間の点に、ものごとがおもしろくなる
客観の視点がある。

そう考えると新聞にのる ^{がいでん} 外電がおもしろくなる。外国通信社
のニュースは、われわれにとってはアウトサイダーである。日本
の新聞記事は、いわばインサイダー的である。

もっとも、ニュース源に対して、記事はアウトサイダー的であ
るが、外電に比べると、インサイダー的である。そのために外電
の書ける記事を書くことができない。デリケートな問題について
は、日本の記事より外国通信社の記事の方がおもしろいのは、不
思議ではない。

電波通信、テレビなどが普及したこともあって、外電がかつてのように注目されなくなった。世界が近くなり、近くなりすぎて、おもしろくなくなったとすれば皮肉である。

一般の日本人が日本のよさを認めるようになったのは、海外旅行のせいであるという考えがある。

農村の人がパックで、^②海外旅行へ行く。行ってみると、思ったほどのことはない。いや日本の方がましである、という愛国者まであらわれる。日本に対して、ひとときアウトサイダーとなったために、それまで、思いもしなかった祖国のよさが見えてきた、ということである。

日本のよさがわかるには、いったん国をはなれ、アウトサイダーとして、自国を遠望する必要があるのである。

知恵のある広告会社のプロデューサーが、^③「ディスカヴァー・ジャパン」というキャンペーンを始めて、大成功を収めた。海外旅行でチョッピリ、アウトサイダーになった人たちに、つよい刺激を与えたのはむしろ当然であったかもしれない。

「どんなに賢い人でも、自分の背中は見ることができない」ということばがある。

わからないのは背中だけではない。自分のことは、みなよくわからないのである。目はひとの顔を見るためにある。外を向い

ている。自分のハナだってよく見えない。

自分を見るにはアウトサイダーが必要だが、いちいち第三者をわざわざすることはできないから、鏡というものを考え出した。そのおかげで、わが姿を一部、見ることができる。

しかし、裏側を見ることができない。そこで、合わせ鏡ということが考えられた。鏡がすでにアウトサイダーであるが、合わせ鏡は二重にアウトサイダー的である。それを案出した人の知恵はすばらしいものである。

近くでよくわからないことが、遠くなるとおもしろくなる。人間のもつて生まれた能力のひとつである。

(外山^{とやま}滋^{しげ}比^ひ古^こ『消^きえるコトバ消^きえないコトバ』問題のため一部改編)

〔注〕

*ひと悶着……ちよつとした騒ぎやもめごと。

*三保の松原……静岡県静岡市清水区の、駿河にある松原。富士山の優れた風景を望む場所。

*麓……山の下の方の部分。

*気鋭……意気込みが鋭いこと。意気がさかなこと。

*雑然……物事にまとまりがなく、整理されていないさま。

*外電……外国からの電報。

問 1

① アウトサイダー を言い換えている箇所を本文中より五文字で抜き出しなさい。

問 2

② 海外旅行 とありますが、

(1) 何を伝えるための例でしょうか。答えなさい。

(2) (1)と同じ意味で使われている語句を本文中から五字以内で抜き出して書きなさい。

問 3

本文中の空らん

あ
う

 に当てはまる語句として

適当なものを次より選びなさい。

語群 .. 限定的 自己中心主義 主観的

問 4

近くでよくわからないことが、遠くなるとおもしろくなるとありますが、あなたの今までのこのような経験とそこから気がついたことは何か、具体的に書きなさい。
その際、次の条件にしたがうこと。

条件 1 書き出しは一まずめから書き始めなさい。

条件 2 文章は五十字以上六十字以内で書きなさい。

、 や。 や 「なども一字と数え、改行などで空いた
ますも一字数えます。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

筆者はクロスケ先生、チャシロ先生という猫二匹と暮らしている。次の文章は、その二匹の猫との暮らしから筆者が動物や人間について考えたことを文章にしたものである。

まったく自分の感覚が通用しない存在がある。文学や学問の世界では、それをよく「他者」という言葉で表現していて、ここでもそう呼ぶ。まだ理解の及ぶ「他人」よりも、もつと根本から自分とは立場のちがう、わからない存在としての「他者」。

しかし、本来は決してわかりようがないものを、瞬間的に理解したような気持ちにさせる方法がある。人間ではないものを人間のように描く「擬人化」である。先ほど、キノコなどの菌類が世界をどう感じているかの想像は「完全にお手上げ」と書いたけれど、イラストで椎茸を描き、そこに顔が描かれていたら、どうだろうか。しかも、「原木栽培で、ボクこんなに大きくなったよ！」なんてセリフもつけられていたら。わからなかった存在が、一気に親しみのある存在に変化した感じがしたでしょう？

ぼくらはそのように、擬人化を通して、鳥や魚や蛇やナマコやクラゲ、さらに虫やキノコのことまでも、本質的にわからない相手を、話を通じるかもしれない存在としてとらえ直している。さらに生きものだけでなく、山や岩や川や海、台風にまで、擬人化の効用はあるだろう。擬人化とは、だから、つながるはずのないもの同士の世界をつなぎ、理解に誘う万能の魔法といえる。逆にいえば、ぼくらは擬人化を通さなければ、わからない相手のことを自分の中にとらえることができないのだと思う。

「先生、ぼくは何も知りませんでした」

お気に入りの浅い箱に入ったクロスケ先生を前に、ぼくは正座して深々と頭を下げた。クロスケ先生は箱のへりに両方の前足を置いて寝そべっていて、大変えらそうに見える。

「ぼくら人間は、こんなにも、全然ちがう生きものたちに囲まれていたんですね」

クロスケ先生は表情を変えず、泰然とぼくを見上げていた。チャシロ先生が遊びたそうに、ぼくのお尻に頭をそっとこすりつけていく。

「でも、たとえば先生だって、ぼくらと全然ちがう生き方ですよね。なのに、どうして一緒に暮らせるんでしょね？」

そのとき、気持ちよさそうに尻尾を振っていた先生は、ストーン！と一度、尻尾でつよく箱の底を打った。「なんの疑問もない」と言っているようだった。

……と、こんなふうに、ぼくが猫先生とやりとりするのも、広いくくりでの擬人化に入るだろう。擬人化ふうというか。

先ほど、^①擬人化は「万能の魔法」だと書いた。でも、万能であることと背中合わせに、逆にほんとうの理解から遠ざけてしまふ弊害もあることに気づいているだろうか。(A)

擬人化は、小説や映画やマンガやアニメ、SNSにテレビCMなどなど、あらゆる場面で使われている。見渡せば、擬人化であふれているといつていいくらいだ。

現実には動物たちと言葉を用いて会話することはできないのに、猫や犬が言葉をしゃべり、カワウソや馬が歌う。それはかわいらしいし、どこかユーモラスである。動物たちへの親しみがグッと増す効果があるのはたしかだ。一見、何も悪いことはないように見える。

だけど、その表現は、どこまで動物自身のことを考えているんだろう？と疑問に思うこともしばしばだ。たとえば、ある会社のCMでは、三頭の馬が並んで会社名が入った歌詞を歌うのだが、口を開けて歌うたびに、大きな歯が剥きだしになる。出っ歯に見えるおかしさを強調するように映像が作られていて、親しみをこめて馬を描いているようだけど、結局は、歯の大きな馬を笑い者に行っているのではないだろうか。(B)

猫や犬が時折見せるおかしなしぐさを、笑うことはよくもある。毎日ある。クロスケ先生やチャシロ先生のことを、ちょっとふざけた感じで書くのも、先生たちが見せる意外性のあるおかしみやかかわいらしさを感じてほしいから。ただ、そこがギリギリなところで、どこかでぼくも猫という種のことをかわいらしいオモチャのように扱っているのではないか、という疑いはゼロではない。

ただ、少なくとも、動物たちを笑う(見下して嘲笑すること)を当たり前のこととは思わないように気をつけている。動物たちを見て「笑ってもいい」と思う気持ちの中には、「人間のほうが上で動物は下」という、動物たちを見下す気持ちがあるように思うから。そして、人間とはちがう動物たちの姿を、その独特の容姿やかかわいらしさを利用して、会社名を宣伝するような

ことはやらないように気をつけている（じゃあ、この本のタイトルに猫を持ちだしているのはどうなの？ と問われたら、うう、たしかに猫のイメージで興味を持ってもらおうとしたことを白状します）。（C）

ある動物を擬人化するとき、その動物を尊重する気持ちにもとづく表現なのか、逆にただ都合よく利用しただけの表現なのか、というところが、良い擬人化と悪い擬人化の別れ道になるのかもしれない。肝心なのは、その動物に対する尊敬の念があるかどうかだ。

（中略）

クロスケとチャシロを「先生」と呼ぶのも、質問に対するふたりの回答を想像するのも、ぼくが勝手にやっていることである。からかいと尊重のギリギリの狭間で、そのありえなさを遊んでいるともいえる。（D）

というのも、猫である先生たちの実際の気持ちは、結局はわからないという思いがあるからである。

この「わからない」という部分を保持しつづけることが大事じゃないかとぼくは思っているんだ。たとえかわいらしく、あるいはユーモラスに擬人化して動物たちのことがわかったような気になっても、それは「わかったような気」になっただけ

で、実際はどうなのか、ほんとうのことをぼくらは知らない。だから、「わからない」という余地を自分の中に残すことは、相手が自分とは異なる者であることを謙虚に認めることであり、それはつまり、相手の存在を尊重することにつながるのではないかと思う。

ひとつ断っておかなければならないけれど、ぼくは擬人化自体を否定しているわけではない。前のほうでも少しふれたけれど、擬人化された動物のキャラクターを愛することが、実際の動物たちに親しみを抱く大きなきっかけになることは当然あるから。そして、ぼくが書く小説のように現実のルールに縛られた作品よりも、格段に自由に生き生きした動物たちの世界を見せてくれたりもする。そういうときはやはり、擬人化の効用と可能性の大きさを思わざるをえない。

相手について「わからない」部分を残したままにいること

が、なぜ、相手のことを尊重することになるのか、もう少し説明したほうがいいかもしれない。前の項で、動物たちの「声を奪う（盗む）」ことはやってはいけないと書いた。それとつながると思うけど、たとえばぼくの前に、ぼくとは立場の異なる人がいて、その人の話を聞いても色々なことがわからなかったりする。そのわからない部分があるからこそ、その人はその人

なのに、わからない部分をなんでもぼくがわかることにあてはめてしまうと、その人の存在はすべてぼくの勝手なイメージに塗り込められて、その人自身の固有性（もともと備わっている、それによって他と区別されるような性質）は消えてしまうことになる。それは、ぼくが見ている世界から、その人が消えてしまうことと同じではないだろうか。

逆の例でいえば、ぼくが動物たちのおかれた苦しい現実をなんとかみんなに知ってほしいと思っているのを、ほかの人に「ああ、動物愛護の人か、わかった」と簡単に片付けられたら、自分が半分消えたような寂しさやわだかまりを感じるだろう。ぼくが動物愛護の方向性で話しているのはたしかにそうだが、ただ「愛そう」「守ろう」と言いたいわけではないから。動物のことに限らず、人間についても、優劣のない同じ命であるはずなのに、尊重される命とそうでない命があるとみなされる理由について、一緒に考えてほしいと思っているのだから。

わからなさを受けとめることは、相手の固有性を損なわずに受けとめることであり、自分とは異なる相手が「いま・ここ」に存在することを認めることである。言いかえれば、自分の世界の中に、自分とは異なる相手を異なるままにちゃんと存在さ

せるということである。……かえってわかりづらくなったのだろうか。

（木村友祐『猫と考える動物のいのち・命に優劣なんてあるの？』問題のため一部改編）

問1

① 擬人化は「万能の魔法」だとありますが、

(1) 擬人化はどのような点で「万能の魔法」だと言えますか。

五十文字以内で書きなさい。

(2) 動物の擬人化をするときに、気をつけなければならないことはどのようなことですか。本文から二十文字以内で抜き出さなさい。

問2

次の文は空欄（A）～（D）のどこに入りますか。記号で答えなさい。

気づいた方もおられるかもしれないが、そのふたりが実際に話した場面はぼくは書いていない。

問3

自分の世界の中に、自分とは異なる相手を異なるままに
ちゃんと存在させる とはどのようなことですか。あな
たの考えを書きなさい。その際、次の条件にしたがうこ
と。

条件1 段落構成については、次の(1)・(2)にしたがうこと。

(1) 第一段落には、あなたの「自分の世界の中に、自分と
は異なる相手を異なるままにちゃんと存在させ」た、こ
れまでの体験を具体的に書きなさい。

(2) 第二段落には、第一段落で書いたあなたの体験にもと
づいて、「自分とは異なる相手」に向き合うことに対する
あなたの考えを書きなさい。

条件2 そのほかについては、次の(1)から(3)の条件に従うこと。

(1) 解答は原稿用紙の正しい使い方で書き、書き出しは一
まず空けて書き始めなさい。

(2) また、言葉を正しく使い、文章は百八十字以上二百十
字以内で書きなさい。

(3) 、や 。 や「 などとも一字と数え、改行などで空い
たますも字数に数えます。

[illegible][illegible]

受験番号

氏 名

適性検査1 解答用紙

問1	客観の視点
問2	(1) アウトサイダーの視点を手に入れることで、インサイダーの良さがわかることを示す例。
問3	あ(2)合わせ鏡 い③自己中心主義 う③主観的
問4	【採点基準】（減点する） 条件に合った解答がされているか。（⑤） 解答用紙の使い方。間違った字脱字はないか。（②） 誤字脱字の範囲内か。（各①） 指定数字の範囲内。表現に収まっているか。（⑤） 言葉の使い方。表現に不備はないか。（各③）

二	問1	(1) 本質的にわからない相手、話が通じるか もしれないと自分でえ、理解する このが出来る点。 自分の分の、中であらえ、通じ理解する (類似解答であれば正解とする)	20
問2	D	(2) その動物に對する尊敬の念があるかどうか 20	20
問3	【採点基準】（減点する） 条件に合った解答がされているか。（各⑤×条件二つ） 解答用紙の使い方。間違った字脱字はないか。（②） 誤字脱字の範囲内か。（各①） 二段構成になっており、改行が適宜なされているか。（②） 指定数字の範囲内。表現に収まっているか。（⑤） 言葉の使い方。表現に不備はないか。（各③）		

受験番号

氏名